

2022年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年6月9日
東

上場会社名	ベストセラ株式会社	上場取引所	東
コード番号	1433	URL	https://www.besterra.co.jp
代表者 (役職名)	代表取締役社長	(氏名)	吉野 炳樹
問合せ先責任者 (役職名)	取締役企画部長	(氏名)	本田 豊
四半期報告書提出予定日	2021年6月14日	配当支払開始予定日	—
四半期決算補足説明資料作成の有無	有		
四半期決算説明会開催の有無	無		

(百万円未満切捨て)

1. 2022年1月期第1四半期の連結業績 (2021年2月1日～2021年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年1月期第1四半期	1,318	46.3	198	—	196	—	132	—
2021年1月期第1四半期	901	△19.1	15	△88.4	16	△87.6	5	△93.1

(注) 包括利益 2022年1月期第1四半期 137百万円(—%) 2021年1月期第1四半期 △733百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2022年1月期第1四半期	円 銭 16.12	円 銭 16.02
2021年1月期第1四半期	0.72	—

(注) 2021年1月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの希薄化効果を有していないため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2022年1月期第1四半期	百万円 6,381	百万円 2,712	% 42.1
2021年1月期	6,030	2,595	43.0

(参考) 自己資本 2022年1月期第1四半期 2,685百万円 2021年1月期 2,592百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2021年1月期	円 銭 —	円 銭 6.00	円 銭 —	円 銭 10.00	円 銭 16.00
2022年1月期(予想)	—	6.00	—	10.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年1月期の連結業績予想 (2021年2月1日～2022年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	52.1	450	261.4	518	143.4	360	152.5	43.76

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の連結業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年1月期1Q	8,379,200株	2021年1月期	8,355,600株
② 期末自己株式数	2022年1月期1Q	128,994株	2021年1月期	128,994株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年1月期1Q	8,237,587株	2021年1月期1Q	8,226,770株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間.....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間.....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による企業の経済活動、個人の消費活動の縮小により、企業収益や雇用環境は大幅に悪化しました。一度目の緊急事態宣言解除後の2020年初夏から初秋にかけては当該影響による経済環境の減退に一時的に持ち直しの動きがみられたものの、その後の感染再拡大により、三度目の緊急事態宣言が発出される等再び厳しい情勢が続いております。

そのような状況のなか、当社グループの属するプラント解体業界においては、社会インフラに対しての解体工事の提供を主としておりますが、新型コロナウイルス感染症が拡大するなか、様々な産業において産業構造の見直しやリストラクチャリングの動向は続いており、余剰設備の解体需要は減退することなく推移しております。

当社においては、特定の工事現場において新型コロナウイルス感染症の感染が発見されるケースはあるものの、現時点での工事中断や大幅な工期遅延はなく、また、工事に携わる人員の感染対策・感染時の早期封じ込めを最大限に実施したうえで工事を施工しております。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による営業活動への影響は一定程度あると認識しており、着工前の工事につきましては、受注・計画から着工に至るまでの段階で、業務に支障が生じ工事着工が後ろ倒しになるケースが発生しております。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の経営成績につきましては、スクラップ相場の高騰や工事進行基準対象工事の施工が順調に推移した結果、売上高は1,318,910千円(前年同四半期比46.3%増)となりました。また、利益面におきましても、スクラップ相場の高騰による利益の押し上げや販売費及び一般管理費の抑制に努めた結果、営業利益は198,317千円(同1,210.4%増)、経常利益は196,000千円(同1,111.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は132,825千円(同2,131.7%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

プラント解体事業

プラント解体事業は、大型現場のスクラップ相場の高騰による売上高の拡大や工事進行基準対象工事の施工が順調に推移した結果、完成工事高は1,255,547千円(同52.4%増)となりました。

その他

その他は、主に人材サービス事業で構成されております。人材サービス事業については、当社グループ内において事業の再編中であり、営業商圏の見直しや人的リソースの効率化等を図っておりますが、再編による効果が得られるまで一定の時間を要すると想定しております。これらの結果、兼業事業売上高は63,363千円(同18.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は6,381,777千円となり、前連結会計年度末に比べ351,015千円の増加となりました。これは主に現金及び預金312,751千円、受取手形・完成工事未収入金等が54,200千円増加したこと等が要因であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は3,668,863千円となり、前連結会計年度末に比べ233,419千円の増加となりました。これは主に未成工事受入金等のその他が204,948千円増加したこと等が要因であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は2,712,914千円となり、前連結会計年度末に比べ117,595千円の増加となりました。これは主に利益剰余金が50,559千円増加、資本金および資本剰余金がそれぞれ19,187千円増加したこと等が要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は、建設業界におきまして新型コロナウイルス感染症の影響により建設投資の需要が減退しており、また、慢性的な人材不足による労務費の上昇や採用難、資材価格の上昇等の問題が顕在化しております。一方、解体業界におきましては、高度経済成長期に建造された設備が、物理的な老朽化に加え、経済的陳腐化等の理由により解体・更新時期をむかえるものと推測され、今後も解体工事数の増加が期待されます。

このような状況のもと、当社は持続可能な開発目標（SDGs）の実現に向けて、企業理念「柔軟な発想と創造性、それを活かした技術力により地球環境に貢献します」に基づき、2022年1月期から2026年1月期を期間とする5ヶ年の「中期経営計画2025」を策定いたしました。プラント解体業界におけるリーディングカンパニーとして、社会的サステナビリティへの貢献と利益ある成長の両立に努めてまいります。

次期につきましては、効率的な設備への見直しが進む電力業界を筆頭に、プラント解体需要の取り込みに注力する一方、今後拡大することが予想される原子力発電所の廃止措置関連解体、風車解体などの販路を拡大してまいります。上記解体工事案件の増加に注力するため、コーポレートブランディングの強化や営業体制の連携強化、拠点の拡充などを推進するとともに元請工事の積極受注に取り組んでまいります。また、M&A等の戦略的事業投資に加え、新たな工法に関する研究開発、採用活動および安心して働ける仕組みづくり、効率的な業務管理を実現するシステム導入等の成長投資を積極的に行ってまいります。

これらの取組みによって、連結業績予想につきましては、売上高5,600,000千円、営業利益450,000千円、経常利益518,000千円、親会社株主に帰属する当期純利益360,000千円を見込んでおります。

上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、年間配当金につきましては、2021年3月12日付で公表しました数値1株当たり16円（中間配当6円含む）に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,367,126	1,679,878
受取手形・完成工事未収入金等	1,392,304	1,446,504
未成工事支出金	115,865	115,171
その他	74,565	62,809
貸倒引当金	△1,699	△1,740
流動資産合計	2,948,161	3,302,623
固定資産		
有形固定資産	292,983	289,321
無形固定資産		
のれん	12,708	11,914
その他	11,213	21,741
無形固定資産合計	23,921	33,655
投資その他の資産		
投資有価証券	159,840	166,440
関係会社株式	2,527,765	2,527,765
繰延税金資産	38,638	21,884
その他	40,271	40,906
貸倒引当金	△820	△820
投資その他の資産合計	2,765,695	2,756,176
固定資産合計	3,082,600	3,079,153
資産合計	6,030,762	6,381,777

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年4月30日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金等	558,039	597,914
1年内返済予定の長期借入金	242,453	241,710
未払法人税等	36,855	53,410
役員賞与引当金	—	11,400
賞与引当金	—	16,000
その他	256,790	461,738
流動負債合計	1,094,138	1,382,174
固定負債		
長期借入金	2,277,399	2,217,186
退職給付に係る負債	53,195	55,781
その他	10,710	13,721
固定負債合計	2,341,305	2,286,688
負債合計	3,435,443	3,668,863
純資産の部		
株主資本		
資本金	417,178	436,365
資本剰余金	378,148	397,335
利益剰余金	1,973,047	2,023,606
自己株式	△200,301	△200,301
株主資本合計	2,568,071	2,657,006
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,003	28,582
その他の包括利益累計額合計	24,003	28,582
新株予約権	1,214	25,548
非支配株主持分	2,029	1,776
純資産合計	2,595,318	2,712,914
負債純資産合計	6,030,762	6,381,777

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年4月30日)
売上高		
完成工事高	824,087	1,255,547
兼業事業売上高	77,474	63,363
売上高合計	901,562	1,318,910
売上原価		
完成工事原価	674,180	917,503
兼業事業売上原価	52,135	46,623
売上原価合計	726,315	964,127
売上総利益		
完成工事総利益	149,907	338,043
兼業事業総利益	25,339	16,739
売上総利益合計	175,246	354,782
販売費及び一般管理費		
営業利益	160,112	156,464
営業外収益		
不動産賃貸料	15,134	198,317
不動産賃貸料	10,008	8,561
その他	3,607	1,426
営業外収益合計	13,616	9,987
営業外費用		
支払利息	1,627	1,927
不動産賃貸費用	7,505	8,943
その他	3,444	1,433
営業外費用合計	12,577	12,304
経常利益	16,173	196,000
税金等調整前四半期純利益	16,173	196,000
法人税、住民税及び事業税	4,591	48,695
法人税等調整額	5,496	14,732
法人税等合計	10,087	63,427
四半期純利益	6,086	132,572
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	134	△252
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,951	132,825

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年4月30日)
四半期純利益	6,086	132,572
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△739,285	4,579
その他の包括利益合計	△739,285	4,579
四半期包括利益	△733,199	137,151
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△733,334	137,404
非支配株主に係る四半期包括利益	134	△252

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)

1 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年4月23日 定時株主総会	普通株式	82,267	10	2020年1月31日	2020年4月24日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2021年2月1日 至 2021年4月30日)

1 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2021年4月22日 定時株主総会	普通株式	82,266	10	2021年1月31日	2021年4月23日	利益剰余金

2 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日
後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		その他(注)	合計
	プラント解体事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	824,087	824,087	77,474	901,562
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—
計	824,087	824,087	77,474	901,562
セグメント利益	149,907	149,907	25,339	175,246

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材サービスを含んでおります。

2 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	149,907
「その他」の区分の利益	25,339
販売費及び一般管理費	△160,112
四半期連結損益計算書の営業利益	15,134

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2021年2月1日 至 2021年4月30日)

1 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		その他(注)	合計
	プラント解体事業	計		
売上高				
外部顧客への売上高	1,255,547	1,255,547	63,363	1,318,910
セグメント間の内部 売上高または振替高	—	—	—	—
計	1,255,547	1,255,547	63,363	1,318,910
セグメント利益	338,043	338,043	16,739	354,782

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、人材サービスを含んでおります。

2 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	338,043
「その他」の区分の利益	16,739
販売費及び一般管理費	△156,464
四半期連結損益計算書の営業利益	198,317

3. 補足情報

生産、受注及び販売の状況

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年2月1日 至 2020年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年2月1日 至 2021年4月30日)	対前年同期	
	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)	増減率 (%)
前期繰越工事高	1,046,995	2,545,412	1,498,416	143.1
当期受注工事高	1,334,330	790,782	△543,547	△40.7
当期完成工事高	824,087	1,255,547	431,459	52.4
次期繰越工事高	1,557,237	2,080,647	523,409	33.6

(注) 1 当期受注工事高には有価物売却予想額を含んでおります。

2 前連結会計年度以前に受注したもので、契約の変更による請負金額の増減および有価物の売却価格の変動等による増減があったものについては、その増減額は変更のあった期の受注工事高に含んでおります。

3 上記の金額には消費税等は含まれておりません。